

安全データシート (SDS)

作成日 2008年12月9日
改訂日 2024年2月16日

1. 化学品及び会社情報

製品情報

化学品の名称	トリポリリン酸ナトリウム
供給者の会社名	米山化学工業株式会社
住所	大阪市北区西天満5丁目2番18号
電話番号	06-6363-0824
緊急連絡電話番号	06-6363-0824
ファックス番号	06-6365-9982
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途：	工業用
使用上の制限：	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分4
	皮膚腐食性／刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分1（神経系）
	記載がないGHS分類は、区分に該当しないまたは分類できない	

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

皮膚に接触すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

長期又は反復ばく露による臓器（神経系）の障害

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保護手袋、保護眼鏡及び保護面を着用すること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。

粉じん、フュームの吸入を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

吸入した場合：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚に付着した場合、汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを求めるこ。
 皮膚に付着した場合、汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して
 いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
 飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合、口をすすぐこと。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
 施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託する
 こと。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	トリポリリン酸ナトリウム
別名	ポリリン酸ナトリウム
成分及び組成	トリポリリン酸ナトリウム 100%
化学特性(化学式又は構造式)	$\text{Na}_5\text{P}_3\text{O}_{10}$
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-497
CAS RN	7758-29-4
危険有害成分	ピロリン酸ナトリウム(無水) (別名:オキシビスホスホン酸四ナトリウム)(不純物) 含有量 17~27% 成分 $\text{Na}_4\text{P}_2\text{O}_7$ 官報公示整理番号 (1)-497 CAS番号 7722-88-5

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 ただちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで 洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 ただちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる 場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 ただちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 ただちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、炭酸ガス。
特定の危険有害性	火災に巻き込まれたとき有害ガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	周辺火災の場合は、移動可能な容器を安全な場所に搬出する。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。
	消火作業は風上から行い、火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業には必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	環境中に放出してはならない。 回収・中和 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	設備対策を行い、保護具を着用する『8. ばく露防止及び保護措置』を参照。
安全取扱注意事項	粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 取扱後は手をよく洗うこと。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な容器包装材料	ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には、適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。 ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
許容濃度	日本産業衛生学会 未規制 ACGIH 未規制
保護具	
呼吸用保護具	保護マスク
手の保護具	保護手袋

目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護長靴, 保護衣
適切な衛生対策	呼吸用保護具

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	粉末または粒状
色	白色
臭い	無臭
融点／凝固点	融点 : 622°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	不燃性
分解温度	加熱すれば 622°Cで融解してメタリン酸ナトリウムを生ずる。水溶液は弱アルカリ性を呈する。
pH	9.0~10.2 (1%溶液)
動粘性率	データなし
溶解度	水 : 14.5g/100g (20°C)、19.5g/100g (60°C)
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	嵩比重 0.7~0.9 (g/ml)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	吸湿性がある。加熱により分子内脱水をおこし変化する。
危険有害反応可能性	常温で安定な物質。
避けるべき条件	高温、多湿な場所を避ける。
混触危険物質	特になし
危険有害な分解生成物	ナトリウム酸化物、燐酸化物。

11. 有害性情報 ピロリン酸ナトリウム（無水）の情報を記す。

急性毒性	経口 ラット LD ₅₀ 4000mg/kg (RTECS)
皮膚腐食性／刺激性	ヒトで、中等度から軽度の皮膚刺激が見られ、ウサギで強度の刺激性が報告されている。(ACGIH (7th, 2001))
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ヒトで、中等度から軽度の眼刺激性が認められ、またウサギで強度の眼刺激性が報告されている。(ACGIH (7th, 2001))
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	ヒトで、咳及び鼻と咽頭の刺激がみられる。(HSFS (2003))

特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ヒトで、神経系への影響があり、ばく露基準が定められています。(ACGIH (7th, 2001))
誤えん有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性・分解性	水に溶け、徐々に加水分解してリン酸イオンを生じる。
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
注意事項	荷崩れ、破袋、水濡れ等による容器の損傷に注意。

1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	施行令第18条の2〔名称等を通知すべき危険物及び有害物、名称等を表示すべき危険物及び有害物〕(オキシビスホスホン酸四ナトリウム)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
水質汚濁防止法	施行令第3条（りん含有量）

1 6. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、すべての情報を網羅しているものではありません。取扱いには充分注意してください。
含有量、物理化学的性質、危険有害性等は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをされる場合には、用途・用法に適した安全対策をした上でお取り扱い願います。